

ID No.	351
研究課題名	内在性フィロウイルス VP35 様配列の機能解析
研究代表者	牧野 晶子 (京都大学ウイルス研究所・特定助教)
研究組織	
受入教員	河岡 義裕 (東京大学医科学研究所・教授)
研究分担者	朝長 啓造 (京都大学ウイルス研究所・教授)
	小池 悠斗 (京都大学ウイルス研究所・大学院生)
研究報告書	
<p>本研究では、コウモリのゲノムに内在化し ORF を保持し進化の過程で正の選択がかかっている、フィロウイルスの VP35 様配列の機能解析を詳細におこなった。Myotis daubentonii のゲノムから、フィロウイルスの VP35 様配列 (EEL35) をクローニングした。フィロウイルスのミニゲノムアッセイを用いた評価から、EEL35 にはウイルスのポリメラーゼ活性を抑制する作用があることが示唆された。EEL35 がウイルスの NP との相互作用モチーフを保存していることから、ポリメラーゼ構成体としては不完全である EEL35 がポリメラーゼ複合体に取り込まれることでその働きを抑制し抗ウイルス機能を持つ可能性が考えられた。本研究では、EEL35 とフィロウイルスのポリメラーゼ複合体との共局在を共焦点レーザー顕微鏡により評価し、また EEL35 とフィロウイルスのポリメラーゼ複合体との相互作用を免疫沈降法により評価をおこなった。しかしながら、実験に用いた抗体が本実験系に適さなかったことから、明確な結果は得られなかった。このことから、平成 28 年度も本共同研究へ応募し採用いただいた。平成 28 年度の研究において、抗体の評価を含めた更なる解析を進めていきたい。</p>	